

# 人・街・ながた 震災資料室ニュース

2006. 11. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

## 阪神大震災と長田区の人口動態 4回の国勢調査を比較して①

05年(平成17年)の国勢調査で総務省は我が国の「人口増加率は5年間に0、7%で戦後最低を更新」と発表した。一方、神戸市人口は152万5389人で過去最高となったが、長田区は1、6%減で10万3771人であった。

過去3回の国調(90年, 95年, 00年)で区内の町通の人口動態を4パターンに分類してきたが、今回どの様な変化があったか見ていこう。

### これまでの4パターン

- 1、増加傾向にある町通
- 2、震災で減ったが復調傾向にある町通
- 3、減少傾向にある町通
- 4、震災で一時増えたが減少傾向の町通

### 避難された人は

4万9991人

かつてインナーシティ問題等で人口減少が続いていた長田区が阪神淡路大震災で多くの市民が被害にあわれ避難所生活、仮設住宅ぐらしそして転居等で大きな人口変動が起こった。

甚大な被害を被った地区は再開発事業・区画整理事業が進められている。白地地区についても復興に向けて様々な取り組みがされている。街々の人口の動きを追う。

### 05年国調の特徴

前回(00年10月1日)と比較して10%以上の変動がある町通が27ある。(裏面)まず、これらを見てみよう。(次号へ)



### 焼け焦げたお米

震災資料室展で当時を語る展示品のほとんどが、市民・ボランティアそして応援に来てくれた他都市の職員の皆さんからの寄贈である。

岩崎マツキさん(御蔵通)は自宅の焼け跡から掘り出した溶けたガラスコップや陶器、旅行先で買った土産物などと共に、焼け焦げたお米を寄贈くださった — 普通のお米より一回り小さくなった黒いお米だ。震災の前夜、岩崎さんは炊飯器に朝ご飯のお米をしかけたが、タイマースイッチを入れなかったそうだ。家は半壊だったが、午後になって火の手が回ってきて全焼した。

御蔵・菅原3・4丁目は木造家屋が多かったため、街の90%が焼失した。消防庁の記録をみると、6時頃出火し8時頃に消防車が到着し、運河の水を引いたが10時頃に切れた。14時30分頃に再び消防車が来て、小学校の3・4階から放水したと書かれている。

街は区画整理事業が施行され自宅が再建されたのは5年後であった。

10%以上の増減の町通 (05年/00年)

増

減

一里山	12.7%	33人
大谷	11.0	250
大橋	35.2	422
大道	11.9	60
御屋敷	25.6	380
林山	16.4	182
日吉	11.8	132
水笠	37.6	428
若松	21.9	450
浪松	20.4	53

鶯	△11.8%	△130人
荻藻島	28.6	8
源平	16.6	77
五位池	13.6	287
高取山町	14.7	368
七番	21.2	14
西丸山	15.6	185
二番	13.7	104
浜添	17.3	129
東丸山	16.4	46
松川	15.0	157
雲雀丘	11.9	140
房王寺	11.9	415
細田	10.4	82
堀切	12.5	94
真野	18.5	61
明泉寺	11.3	149

※ 山麓線以北の町通

一里山 林山

※ 事業区域 (区画整理・再開発)

大橋、大道、御屋敷  
日吉、水笠、若松

訪ねて来られました

- 10/16 神戸大学大学院生
- 11/6 神奈川県より男性
- 11/13 第29回解放保育研究集会  
フィールドワーク
- 11/16 島根県同和研修推進員の  
皆さん
- 11/21 茨城キリスト教大学学生

※ 山麓線以北の町通 (いわゆる丸山地区)

鶯 源平 高取山 西丸山 東丸山 松川

雲雀丘 堀切 明泉寺